

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管理名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）			
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数		
I-1- (1)-① 仕事と子育ての両立支援	1	ワーク・ライフ・バランス推進事業	女性活躍推進課	誰もが多様な働き方や生き方を選択でき、活力ある豊かな社会を実現するため、「北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会」を中心に、企業等の取組み支援などを行うとともに、企業や地域での様々な活動と連携しながら仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進を図る。	子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合	41.0% (H25年度)	目標 単年度目標 なし	実績 49.0 %	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	継続	10,519	9,193	減額	10,700	課長 0.30 人	係長 0.50 人	職員 0.30 人	順調	北九州市女性活躍・ワークライフバランス表彰の実施やワーク・ライフ・バランス推進に関する企業へのアドバイザー等の派遣、各種セミナーの開催等により、子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合が、上昇するように継続的に実施する。		
	2	<新>働き方改革先進都市事業	女性活躍推進課	働き方の見直しのため、「北九州イクボス同盟」を中心に、イクボスの普及を図る。また、企業における潜在労働力活用などの新しい働き方の創出や未就業女性向け就業支援、女子生徒向け理工系職業体験プログラムの実施等、将来にわたっての多様な働き方の実現を推進する。	女性の就業率（25～44歳）	65.9% (H22年 国勢調査)	目標 /	実績 /	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	—	—	6,500	—	10,700	課長 0.30 人	係長 0.50 人	職員 0.30 人	—	女性の就業に関する実態調査の結果を踏まえ、未就業女性の就業ニーズと家庭との両立などの課題解決に向け、求人側、求職側双方に向けた就業支援等を新たに実施する。また、女子生徒向け理工系職業体験プログラムの実施等、将来にわたっての多様な働き方の実現を推進する。	平成29年8月に設立した「北九州イクボス同盟」を中心に、市内企業等へイクボスを推進し、子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合が、今後もさらに上昇していくよう、各種支援を通じて、企業の「働き方の見直し」にかかる意識改革を一層推進していく。 また、女性の就業に関する実態調査の結果から見えてきた課題の解決に向け、求人側、求職側双方に向けた就業支援等を新たに実施する。	順調
				ウーマンワークカフェ北九州新規利用者数		—	目標 /	実績 /	3,600 人	4,000 人 (H31年度)													

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管理課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	H29年度 予算額 (千円)	H30年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）		H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）		
					指標名等	現状値 (基準値)	H28年度	H29年度	H30年度					中期 目標	金額 (千円)					職位 人数	
II-3-(2)-① 政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	3	「女性活躍推進アクションプラン」実施及び市職員次世代育成支援事業	女性活躍推進課	性別にかかわらず職員が能力を発揮し、いきいきと活躍できる職場づくりを実現するため、「女性活躍推進アクションプラン第2期計画」（計画期間：H26～30年度）に基づき、職員のキャリア形成支援やワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組みを実施する。	女性役職者（係長級以上）比率	目標	単年度目標なし	単年度目標なし	20%	20% (H30年度)	継続	3,709	3,198	減額	5,900	課長	0.10	人	順調	女性活躍アクションプランを着実に実施し、女性職員の能力開発やキャリア形成支援を推進していくとともに、多様な人材を活かす組織づくりのため、ダイバーシティ推進プログラムを着実に実施する必要がある。 また、男女共同社会の形成の推進に向けた効果的な取組みを実施するため、他の類似事業を取り扱う施設等との役割分担、連携、事業内容の見直しなどに取組み、地域のニーズに即した公募制の広報啓発事業などを通じて、男女共同参画社会の形成の推進に向けた広報活動を効率的・効果的に実施する。	
						実績	17.9%														
						達成率	—														
				女性管理職（課長級以上）比率	目標	単年度目標なし	単年度目標なし	15%	15% (H30年度)					係長	0.40	人		順調	引き続き、制度の周知・活用を通じて、職員のキャリア形成支援やワーク・ライフ・バランスの一層の推進を図っていく。		
実績	14.5%																				
達成率	—																				
4	ダイバーシティ推進事業	女性活躍推進課	国における「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定や「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」施行など、多様な人材を活かすダイバーシティマネジメントやワーク・ライフ・バランス（働き方改革）を推進するための取組の加速などの動きを踏まえ、テレワークの実施や職場単位の業務改善など、多様な働き方の実現により、簡素で効率的な組織・人員体制をもって、更なる市民サービスの向上を図る。	部課長級の多面評価「イクボス10か条を実践できている管理職の割合」	目標	単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし	90% (H31年度)	拡大	3,300	3,900	増額	8,800	課長	0.20	人	順調	テレワークの試行実施（実施部署を増加させる）や部署単位で実施する働き方見直し実践研修等で効率的な働き方の実現を引き続き行う。 また、イクボスの実践を図り、男性職員も育児等に関わりやすい職場風土の醸成も引き続き実施する。		
					実績	93.4%															
			男性職員の育児休業等取得率	目標	単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし	20% (H31年度)						係長	0.50	人		順調	引き続き実施する。		
				実績	13.2%																
5	男女共同参画センター及び勤労婦人センター管理運営事業	男女共同参画課	男女共同参画センター・ムーブ及び勤労婦人センター・レディス（もじ・やはた）において、施設の運営をはじめ、地域に根ざした女性リーダー育成、就職・キャリアアップ支援、あるいは相談事業など、様々な事業を展開し、男女共同参画社会の形成を推進する。	男女共同参画社会という言葉の認知度	目標	—	—	80%	80% (H30年度)	継続	329,051	330,163	維持	8,950	課長	0.30	人	順調	事業計画に基づき男女共同参画社会の形成の推進に向けたイベントや講座の開催、就業・キャリアアップ支援、相談などの事業を実施する。 講座等の実施にあたっては、より多くの参加に結びつくよう、内容等の見直しや、広報・周知方法の工夫を行う。		
					実績	—															
					達成率	—															
			性別による固定的役割分担意識に肯定的な人の割合	目標	—	H23年度(38.7%)の水率より減少	H23年度(38.7%)の水率より減少	H23年度(38.7%)の水率より減少 (H30年度)					係長	0.40	人		順調	引き続き実施する。			
				実績	—																
				達成率	—																

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業 評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策 評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度	中期 目標					金額 （千円）	職位	人数				
	6	地域における男女共同参画推進啓発事業【男女共同参画広報・啓発事業】	男女共同参画推進課	地域における男女共同参画の推進を図るため、地域で活動している団体・グループ等が企画・実施する広報啓発活動を支援し、男女共同参画に関する理解を深める。	男女共同参画社会という言葉の認知度	68.9% (H23年度)	—	—	80%	80% (H30年度)	継続	3,710	3,483	減額	5,050	課長 0.20 人	順調	若年層や男性の参加者数が増加するよう、講座や講演、イベントの開催内容や時期、PR手法等を見直し、改善に向けた取組みを引き続き行う。			
						実績	—							係長 0.20 人							
						達成率	—							職員 0.10 人							

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善																							
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業 評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策 評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）														
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度	中期 目標					金額 （千円）	職位	人数																		
II-3- (2)-② ワーク・ ライフ・ バランス （仕事と 生活の調 和）の推 進	7	ワーク・ライフ・バランス推進事業	女性活躍推進課	誰もが多様な働き方や生き方を選択できる社会を実現するため、「北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会」を中心に、企業等の取組み支援などを行うとともに、企業や地域での様々な活動と連携しながら仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進を図る。	子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合	41.0% (H25年度)	実績 49.0 %				目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	中期 目標 -H25年度 (41.0%)の 水準より増加 (H31年度)	継続	10,519	9,193	減額	10,700	課長 0.30 人	係長 0.50 人	職員 0.30 人	順調	北九州市女性活躍・ワークライフバランス表彰の実施やワーク・ライフ・バランス推進に関する企業へのアドバイザー等の派遣、各種セミナーの開催等により、子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合が、上昇するように継続的に実施する。										
	8	「女性活躍推進アクションプラン」実施及び市職員次世代育成支援事業	女性活躍推進課	職員のワーク・ライフ・バランスを更に推進するため、「第三期特定事業主行動計画」(H27年度より実施)に基づき各種研修や啓発活動等による職員の意識改革、仕事の見直し・改善、仕事と子育ての両立支援等に取り組む。	ワーク・ライフ・バランスが取れていると感じる職員の割合	71.6% (H25年度)	実績 72.4 %				目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし	85 %		中期 目標 85% (H30年度)	継続	3,709	3,198	減額	5,900	課長 0.10 人	係長 0.40 人	職員 0.10 人	順調	引き続き、制度の周知・活用を通じて、職員のキャリア形成支援やワーク・ライフ・バランスの一層の推進を図っていく。	平成29年8月に設立した「北九州イクボス同盟」を中心に、市内企業等へイクボスを推進し、子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合が、今後もさらに上昇していくよう、各種支援を通じて、企業の「働き方の見直し」にかける意識改革を一層推進していく。	また、ワーク・ライフ・バランスが取れていると感じる職員の割合が更に上昇するよう、しごと改革や男性職員の育児参加の推進等へ積極的に取組み、多様な人材を活かす組織のためのダイバーシティ推進プログラムを着実に実施していく。								
					両立しながら新たな業務等にチャレンジしたいと思う職員の割合	69.9% (H26年度)	実績 —				目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし		中期 目標 75% (H31年度)	拡大					3,300							3,900	増額	8,800	課長 0.20 人	係長 0.50 人	職員 0.20 人	順調	テレワークの試行実施（実施部署を増加させる）や部署単位で実施する働き方見直し実践研修等で効率的な働き方の実現を引き続き行う。
男性職員の育児休業等取得率					2.5% (H20年度)	実績 13.2 %				目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし		中期 目標 20% (H31年度)																					
9	ダイバーシティ推進事業	女性活躍推進課	国における「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定や「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の施行など、多様な人材を活かすダイバーシティマネジメントやワーク・ライフ・バランス（働き方改革）を推進するための取組の加速などの動きを踏まえ、テレワークの実施や職場単位の業務改善など、多様な働き方の実現により、簡素で効率的な組織・人員体制をもつて、更なる市民サービスの向上を図る。	部課長級の多面評価「イクボス10か条を実践できている管理職の割合」	—	実績 93.4 %				目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	中期 目標 90% (H31年度)	拡大	3,300	3,900	増額	8,800	課長 0.20 人	係長 0.50 人	職員 0.20 人	順調	テレワークの試行実施（実施部署を増加させる）や部署単位で実施する働き方見直し実践研修等で効率的な働き方の実現を引き続き行う。	また、イクボスの実践を図り、男性職員も育児等に関わりやすい職場風土の醸成も引き続き実施する。										
			男性職員の育児休業等取得率	2.5% (H20年度)	実績 13.2 %					目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし		中期 目標 20% (H31年度)																					

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度					中期目標	金額 （千円）	職位				
II-3-(2)-③ 性別による人権侵害行為の根絶	10	男女共同参画基本計画推進事業【配偶者等からの暴力対策事業】	男女共同参画推進課	配偶者や恋人等、親しい関係にある人からの暴力は、重大な人権侵害であることを誰もが認識し、暴力を容認しない意識の醸成のための広報・啓発を行う。	配偶者等との間における「平手で打つ」について、暴力と認識する人の割合	55.2% (H23年度)	目標 —	—	70%	70% (H30年度)	継続	7,673	6,966	減額	5,050	課長 0.20 人	順調	DV相談を呼びかけるリーフレット等の公共施設等への配布を継続するとともに、効果的なPRの実施に努める。専門的な知見を持つNPO等と連携して高校・大学等でデートDV予防教室を引き続き行う。 警察など関係機関との連絡会議の開催などによる情報の共有や交換を行う。	順調	配偶者等からの暴力は重大な人権侵害であることを誰もが認識し、暴力を容認しない意識の醸成のため、DV相談を呼びかけるリーフレットの配布、専門的な知見を持つNPO等との連携による高校・大学等でのデートDV予防教室を継続して実施する。 また、今後も警察などの関係機関と情報共有・交換を実施していく。
							実績 —						係長 0.20 人							
							達成率 —							職員 0.10 人						

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度	中期目標					金額 （千円）	職位	人数				
II-3-(2)-④ 女性の活躍推進	11	「女性活躍推進アクションプラン」実施及び市職員次世代育成支援事業	女性活躍推進課	性別にかかわらず職員が能力を発揮し、いきいきと活躍できる職場づくりを実現するため、「女性活躍推進アクションプラン第2期計画」（計画期間：H26～30年度）に基づき、職員のキャリア形成支援やワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組みを実施する。	女性役職者（係長級以上）比率	15.6% (H25年度)	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	20%	20% (H30年度)	継続	3,709	3,198	減額	5,900	課長 0.10人	順調	女性職員キャリア研修やメンター研修の実施など、女性職員の能力開発、キャリア形成支援にかかる取組みを進め、引き続き、女性役職者・管理職比率の上昇を図る。	順調	女性活躍に取組む企業への支援や、女性管理職のスキルアップや企業横断的なネットワーク化に取組むほか、女性の職業生活の拠点となるよう「ウーマンワークカフェ北九州」を運営し、引き続き女性が創業しやすい環境づくりへの取組みや就業支援等の充実を図っていく。 また、市役所職員の女性活躍アクションプランを着実に実施し、女性職員の能力開発やキャリア形成支援を推進していくとともに、多様な人材を活かす組織づくりのため、ダイバーシティ推進プログラムを着実に実施する必要がある。
						実績	17.9%	単年度目標 なし	単年度目標 なし	15%											
	達成率	—	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	15%	15% (H30年度)	職員 0.10人													
12	ダイバーシティ推進事業	女性活躍推進課	国における「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定や「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」施行など、多様な人材を活かすダイバーシティマネジメントやワーク・ライフ・バランス（働き方改革）を推進するための取組の加速などの動きを踏まえ、テレワークの実施や職場単位の業務改善など、多様な働き方の実現により、簡素で効率的な組織・人員体制をもつて、更なる市民サービスの向上を図る。	部課長級の多面評価「イクボス10か条を実践できている管理職の割合」	—	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	90% (H31年度)	拡大	3,300	3,900	増額	8,800	課長 0.20人	順調	テレワークの試行実施（実施部署を増加させる）や部署単位で実施する働き方見直し実践研修等で効率的な働き方の実現を引き続き行う。また、イクボスの実践を図り、男性職員も育児等に関わりやすい職場風土の醸成も引き続き実施する。	順調		
					実績	93.4%	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし											20% (H31年度)
達成率	—	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	20% (H31年度)	職員 0.20人														
13	女性輝き！推進事業	女性活躍推進課	女性が職場や家庭、地域において、その個性と能力を十分に発揮し働きかけや管理職研修・ネットワーク形成支援、創業支援などを行う。	女性の就業率（25～44歳）	65.9% (H22年国勢調査)	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	73% (H31年度)	継続	17,000	9,800	減額	18,400	課長 0.60人	大変順調	シンポジウムや管理職研修参加者のアンケート満足度やダイバーシティ行動宣言等登録・届出企業数が増加するよう、引き続き実施する。	大変順調		
					実績	70%	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし											1,200社 (H31年度)
達成率	—	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	1,200社 (H31年度)	職員 0.60人														

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善													
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）			
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数		
14	ウーマンワークカフェ北九州運営事業	女性活躍推進課		女性の就業・キャリアアップ・創業などをワンストップで支援する「ウーマンワークカフェ北九州」の運営を行う。	ウーマンワークカフェ北九州の早期設置	目標	—				H28年度中に開設	—	—	—	課長	0.30 人	—	—	—				
						実績	H28年5月開設																
						達成率	—																
					女性の就業率（25～44歳）	65.9% (H22年国勢調査)	目標	単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし	73% (H31年度)	—	—	—	係長	0.40 人	大変 順調	国・県と引き続き連携し、「ウーマンワークカフェ北九州」の周知・集客を図ることで利用者の掘り起こし及び就職決定率の向上を目指す。	—	—			
実績	70 %																						
達成率	—																						
					ウーマンワークカフェ北九州新規利用者数	—	目標	2,500 人	3,300 人	3,600 人	4,000人 (H31年度)	—	—	—	職員	0.50 人	—	—	—	—			
実績	3,447 人																						
達成率	137.9 %																						
15	<新>働き方改革先進都市事業	女性活躍推進課		働き方の見直しのため、「北九州イクボス同盟」を中心に、イクボスの普及を図る。また、企業における潜在労働力活用などの新しい働き方の創出や未就業女性向け就業支援、女子生徒向け理工系職業体験プログラムの実施等、将来にわたっての多様な働き方の実現を推進する。	女性の就業率（25～44歳）	65.9% (H22年国勢調査)	目標			単年度目標なし	73% (H31年度)	—	—	6,500	—	10,700	課長	0.30 人	—	女性の就業に関する実態調査の結果を踏まえ、未就業女性の就業ニーズと家庭との両立などの課題解決に向け、求人側、求職側双方に向けた就業支援等を新たに実施する。また、女子生徒向け理工系職業体験プログラムの実施等、将来にわたっての多様な働き方の実現を推進する。	—	—	
					実績																		
					達成率																		
					ウーマンワークカフェ北九州新規利用者数	—	目標			3,600 人	4,000人 (H31年度)	—	—	—	係長	0.50 人	—	—	—	—			
実績																							
達成率																							
16	女性創業応援団事業	女性活躍推進課		日本一創業しやすいまちを目指し、民間企業等が中心となって設立した、女性創業を応援する団体の事業費等の一部を支援するもの。	「北九州女性創業支援 ひなの会」の創設	—	目標		創設		「北九州女性創業支援 ひなの会」の創設 (H29年度)	—	—	15,000	10,000	減額	12,300	課長	0.20 人	—	女性創業応援団に対し、事業費等の一部を支援し、応援団にて、創業人材を発掘するためのPRセミナー等の開催、経営知識を高めるための研修やメンタリング・アドバイザー助言等を実施する。	—	—
					実績																		
					達成率																		
					ひなの会育成メニュー活用者数	—	目標			30 人	30人 (H30年度)	—	—	—	係長	1.00 人	—	—	—	—			
実績																							
達成率																							

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H29年度 予算額 (千円)	H30年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値 (基準値)	H28年度	H29年度	H30年度	中期目標					金額 (千円)	職位	人数				
II-3-(4)-① 平和の尊 さへの理 解の促進	17	(仮称) 平和資料館建設事業	総務課	戦後71年が経過し、悲惨な戦争の記憶の風化が懸念され、戦争の記憶を後世に伝えることが重要となっている。改めて、戦争の悲惨さを市民に伝え、平和の大切さ、命の尊さを考えるきっかけとするため、新たに「(仮称) 平和資料館」の建設に向けた取組を行う。	(仮称) 平和資料館の建設	—	目標	—	—	建築工事等設計業務の着手	—	5,000	52,400	増額	29,000	課長 1.00人	—	建築工事等に係る基本・実施設計業務等に取り組む。	順調	戦後70年余りが経過し、戦争を知らない世代の方がほとんどとなるなか、悲惨な戦争の記憶が風化することへの懸念があり、本市で起きた戦争の惨禍や平和の大切さを伝える必要があることから、「(仮称) 平和資料館」の建設に向けた取組を行う。また、引き続き「嘉代子桜・親子桜」の植樹、長崎市が主催する「青少年ピースフォーラム」への小中高校生の派遣、親子で平和の尊さを考える「長崎市平和派遣」の実施等に取り組む。	
	18	非核・平和推進事業	総務課	本市の平和に対する基本的姿勢を示す「北九州市非核平和都市宣言」に込められた平和への願いを市民に伝えるため、また、悲惨な戦争の記憶を風化させることなく次の世代に伝えるため、事業を実施するもの。	市民が平和の尊さを理解し、共有していくこと	—	目標	—	—	—	継続	10,000	10,000	維持	6,400	課長 0.10人 係長 0.30人 職員 0.30人	順調	引き続き、平和の願いが込められた「嘉代子桜・親子桜」の市内への植樹、長崎市が主催する「青少年ピースフォーラム」への小中高校生の派遣、親子で平和の尊さを考える「長崎市平和派遣」の実施等に取り組む。			

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数
Ⅲ-1- (3)-④ 高度情報 社会への 対応	19	社会保障・税番号制度対応事業	情報政策課	番号法に基づき、個人番号による他行政機関との情報連携（平成29年7月開始）などを行うため、関係する業務及び情報システムの対応を行う。平成30年度は、子育てワンストップサービスの利用開始に伴い、電子申請システムの機能追加を行う。また、パソコンを持っていない市民がマイナポータルを利用できるよう、国が配布した端末を各区分役所に設置し、利便性の向上を図る。	個人番号を用いた他機関との情報連携	情報システムの円滑な導入（H26年度）	目標 総合運用テストの実施	実績 H28年度分の総合運用テストの完了	達成率 —	システムの情報連携の安定運用	システムの安定運用（H30年度）	継続	77,700	78,915	維持	28,450	課長 0.30 人	順調	平成29年11月には情報連携及びマイナポータルの本格運用が開始された。平成30年度は、番号制度対応の情報システムの情報連携・マイナポータルの安定運用に取り組んでいく。	順調	平成29年11月には情報連携及びマイナポータルの本格運用が開始された。平成30年度は、番号制度対応の情報システムの情報連携・マイナポータルの安定運用に取り組んでいく。また、庁内のGIS利用者は、運用開始後から順調に増加しているが、更なる利用者増を目指して、GIS研修会を実施。
	マイナポータル関連業務の安定運用	マイナポータルの円滑な導入	目標 /	実績 /	達成率 /	マイナポータルの安定運用	マイナポータルの安定運用	2,000 人													
20	全庁GIS（統合型GIS）構築運用事業	情報政策課	庁内の各所管課が個別に導入しているGIS（地理情報システム）を集約することで、庁内全体のGIS運用経費を削減するとともに、庁内で情報を共有することにより、業務の効率化・高度化を図る。また、共有したGIS情報のうち、公開可能なものは積極的に市民に公開することにより、市民サービスの向上を図る。	全庁GISの安定運用	安定稼働（H26年度）	目標 安定運用	実績 障害無し	達成率 —	継続的なシステム安定稼働	継続	27,488	32,033	増額	16,050	課長 0.20 人	順調	庁内のGIS利用者は、運用開始後から順調に増加しているが、更なる利用者増を目指して、GIS研修会を実施。平成30年度に契約更新を行うため、予算額を増額した。引き続き、GISを活用した業務の高度化・効率化を進めていく。	順調	GISを活用した更なる業務の高度化・効率化を進める。		
全庁GISに搭載する主題図数	庁内向けGIS：60 地域情報ポータルサイト：98 （H26年度）	目標 庁内向けGIS：60 地域情報ポータルサイト：200 実績 庁内向けGIS：97 地域情報ポータルサイト：326 達成率 121.3 163.0 %	実績 庁内向けGIS：100 地域情報ポータルサイト：300	実績 庁内向けGIS：110 地域情報ポータルサイト：320	H31年度 庁内向けGIS 主題図数：120 地域情報ポータル向け 主題図：330	0.40 人	1.30 人														



		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管理課	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数
IV-3-(2)-② 女性が活躍する産業都市づくりの推進	24	男女共同参画センター及び勤労婦人センター管理運営事業	男女共同参画推進課	男女共同参画センター・ムーブ及び勤労婦人センター・レディス（もじ・やはた）において、施設の運営をはじめ、地域に根ざした男女共同参画推進、女性リーダー育成、就職・再就職に向けた就業・キャリアアップ支援、あるいは相談事業など、様々な事業を展開し、男女共同参画社会の形成を推進する。	男女共同参画社会という言葉の認知度	目標	—	—	80%	80% (H30年度)	継続	329,051	330,163	維持	8,950	課長	0.30 人	順調	事業計画に基づき男女共同参画社会の形成の推進に向けたイベントや講座の開催、就業・キャリアアップ支援、相談などの事業を実施する。講座等の実施にあたっては、より多くの参加に結びつくよう、内容等の見直しや、広報・周知方法の工夫を行う。	順調	男女共同社会の形成の推進に向けた効果的な取組みを実施するため、他の類似事業を取り扱う施設等との役割分担、連携、事業内容の見直しなどに取組む。 また、女性活躍に取組む企業への支援や、女性管理職のスキルアップや企業横断的なネットワーク化に取組むほか、女性の職業生活の拠点となるよう「ウーマンワークカフェ北九州」を運営し、引き続き女性が創業しやすい環境づくりへの取組みや就業支援等の充実を図っていく。
						実績	—	—	—												
	達成率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
25	女性輝き！推進事業	女性活躍推進課	女性が職場や家庭、地域において、その個性と能力を十分に発揮し輝けるよう、企業への働きかけや管理職研修・ネットワーク形成支援、創業支援などを行う。	女性の就業率（25～44歳）	目標	単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし	73% (H31年度)	継続	17,000	9,800	減額	18,400	課長	0.60 人	大変順調	シンポジウムや管理職研修参加者のアンケート満足度やダイバーシティ行動宣言等登録・届出企業数が増加するよう、引き続き実施する。	大変順調		
					実績	70.0 %	—	—													—
26	ウーマンワークカフェ北九州運営事業	女性活躍推進課	女性の就業・キャリアアップ・創業などをワンストップで支援する「ウーマンワークカフェ北九州」の運営を行う。	女性の就業率（25～44歳）	目標	単年度目標なし	単年度目標なし	単年度目標なし	73% (H31年度)	継続	30,000	30,600	維持	11,200	課長	0.30 人	大変順調	国・県と引き続き連携し、「ウーマンワークカフェ北九州」の周知・集客を図ることによって利用者の掘り起こし及び就職決定率の向上を目指す。	大変順調		
					実績	—	—	—													—
達成率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
26	ウーマンワークカフェ北九州運営事業	女性活躍推進課	女性の就業・キャリアアップ・創業などをワンストップで支援する「ウーマンワークカフェ北九州」の運営を行う。	ウーマンワークカフェ北九州の早期設置	目標	—	—	—	H28年度中に開設	継続	30,000	30,600	維持	11,200	課長	0.30 人	大変順調	国・県と引き続き連携し、「ウーマンワークカフェ北九州」の周知・集客を図ることによって利用者の掘り起こし及び就職決定率の向上を目指す。	大変順調		
					実績	H28年5月開設	—	—													—
達成率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
26	ウーマンワークカフェ北九州運営事業	女性活躍推進課	女性の就業・キャリアアップ・創業などをワンストップで支援する「ウーマンワークカフェ北九州」の運営を行う。	ウーマンワークカフェ北九州新規利用人数	目標	2,500 人	3,300 人	3,600 人	4,000人 (H31年度)	継続	30,000	30,600	維持	11,200	課長	0.40 人	大変順調	国・県と引き続き連携し、「ウーマンワークカフェ北九州」の周知・集客を図ることによって利用者の掘り起こし及び就職決定率の向上を目指す。	大変順調		
					実績	3,447 人	—	—													—
達成率	137.9 %	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善												
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H28年度 事業 評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策 評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度	中期 目標					金額 （千円）	職位	人数					
27	<新>働き方改 革先進都市事業	女性 活躍推 進課	働き方の見直しのため、「北九州イクボス同盟」を中心に、イクボスの普及を図る。また、企業における潜在労働力活用などの新しい働き方の創出や未就業女性向け就業支援、女子生徒向け理工系職業体験プログラムの実施等、将来にわたっての多様な働き方の実現を推進する。	女性の就業率（25～44歳）	65.9% (H22年国勢調査)	目標			単年度目標 なし	73% (H31年 度)	—	—	6,500	—	10,700	課長	0.30	—	女性の就業に関する実態調査の結果を踏まえ、未就業女性の就業ニーズと家庭との両立などの課題解決に向け、求人側、求職側双方に向けた就業支援等を新たに実施する。また、女子生徒向け理工系職業体験プログラムの実施等、将来にわたっての多様な働き方の実現を推進する。	—	—	
				ウーマンワークカフェ北九州新規利用者数	—	目標			3,600人	4,000人 (H31年 度)						係長	0.50					職員
28	女性創業応援団 事業	女性 活躍推 進課	日本一創業しやすいまちを目指し、民間企業等が中心となって設立した、女性創業を応援する団体の事業費等の一部を支援するもの。	「北九州女性創業支援 ひなの会」の創設	—	目標		創設	「北九州女性創業支援ひなの会」の創設 (H29年 度)	—	15,000	10,000	減額	12,300	課長	0.20	—	女性創業応援団に対し、事業費等の一部を支援し、応援団にて、創業人材を発掘するためのPRセミナー等の開催、経営知識を高めるための研修やメンタリング・アドバイザリー助言等を実施する。	—	—		
				ひなの会育成メニュー利用者数	—	目標			30人	30人 (H30年 度)					係長	1.00					職員	0.00
VII-1-(3)-③	29	(公財) アジア 女性交流・研究 フォーラム事業	男女 共同参 画推進 課	「国際的な最新情報の収集・発信」「成果の地域還元」「フェイスtoフェイスの国際交流」「あらゆる分野での女性のエンパワーメント」「次世代育成」「情報提供の充実」を目指し、様々な事業を実施する。(公財)アジア女性交流・研究フォーラムの活動を支援する。	男女共同参画社会という言葉の認知度	68.9% (H23年 度)	目標	—	—	80%	80% (H30年 度)	継続	55,000	48,000	減額	4,050	課長	0.20	順調	アジア女性会議や市民向けの研究報告会、セミナーなどの開催を通じて、男女共同参画に関する意識の醸成に努める。	順調	本市の男女共同参画社会の形成の推進に向け、平成28年度に着手したフォーラム研究部門のあり方等の検討内容を踏まえ、事業の見直し等を行う。
実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	係長	0.10								
達成率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	職員	0.10							